資料4

「本のまち」推進の取組について

今年度

◆ **あかし市民図書館オープン**（H29.1.27）
- 収蔵能力を旧図書館の2倍に増やすとともに、従来夜７時までであった平日の開館時間を夜9時までに延長
- オープニングセレモニーで、本のまちを進めていくことを発信

◆「ブックスタート」開始（H29.2.7）
- ４カ月健診受診者に絵本をプレゼントし、図書館司書による読み聞かせを実施
- 加えて、絵本のリストを配付
- 家庭での読み聞かせの簡単なアドバイスや絵本の選び方に関する相談対応なども実施

29年度

○全市を挙げた推進体制の構築

◆（仮称）本のまち推進会議による検討
- 行政関係者、教育関係者、図書関連施設代表者等による会議
- 本のまちの理念、条例、主な施策等について検討

◆（仮称）ネットワーク会議の実施
- 市内の図書関係者や、本のまちに積極的に関わろうとする人員に幅広く声かけをし、行政とともに施策の展開のための具体的な方針等の検討を行う

○学校での読書活動の充実

◆ 学校図書館の充実
- 読書活動や調べ学習などのための蔵書内容の充実

◆ モデル校への学校司書配置
〔小学校4校（1名） 中学校4校（2名）〕
―モデル校での取り組み―
- 学校図書館の授業等への活用や、利用時間の拡大
- 読書相談など児童生徒の読書活動支援
- 学級文庫への図書資料の提供、利用状況の把握
- 読書意欲を高める取り組みの実施
  例）読書ｽﾀﾝﾌﾟﾗﾘｰ、読み聞かせ、テーマ展示等

◆ あかし市民図書館と学校図書館との連携
- 学校からの相談に応じ、市民図書館の司書が授業で活用する本などを選書し巡回車で配送
- 市民図書館の司書が学校でおはなし会などを実施

○ あらゆる場所で本に親しむきっかけづくり

◆ 移動図書館の充実
- 移動図書館車を小型化し２台に増設
- 本に触れられる新たな機会の提供を検討

30年度

◆本のまちサポーターを募集
- あかし市民図書館の活動や本のまちの活動をサポートする人材の発掘と育成

◆モデル施設（3施設程度）によるまちなか図書館の実施

◆（仮称）本のまち推進条例　制定

31年度

◆（仮称）本のまち推進条例　施行

◆まちなか図書館の本格実施

◆本のまちを発信するイベントの実施　等